

令和4年度事業計画

近年の新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格の高騰により、地域経済及びフェリー運航船会社等の経営は、依然として厳しい経済状況にあり、回復も不確実な状況となっている。

こうした中、当公社の主な財源である棧橋等賃貸料についても、将来にわたって安定的という保証はなく、見通しは不透明である。

今後、青森港及び八戸港において、限られた財源の中で、将来を見据えたフェリー利用の円滑化や機能の向上、安全・利便性の向上を図っていくことが、一層重要になってくると考えられる。

このことから、令和4年度の予算編成にあたっては、将来を見据え真に必要な事業費を適切に見積もる。具体的には下記によるものとする。

1 基本方針

- ① 令和4年度の公社予算の編成においては、新型コロナウイルス対策に万全を期すとともに、現在の社会経済情勢を的確に捉え、コロナ下の影響等による新たな課題への対応を図りつつ、ポストコロナを見据えながら、着実な事業の推進を図っていく。
- ② 急激な社会経済情勢の変化に的確に対応し、フェリー埠頭及び航路の維持発展につながる事業へと再構築していくため、施設の維持管理等において、事業の見直しを進め、選択と集中による効率化を促進する。
- ③ コロナ下において、インバウンド観光の激減など、社会経済情勢が急速に変化する中、これらに対応していくため、フェリー利用者の利便性向上等の更なる取組強化により、フェリーの利用促進を図っていく。
- ④ 特に重点的に取り組む事項を定め、これに基づく具体的な事業を企画立案し、事業効果が最大限発揮できるよう取組を進める。

重点項目

- ・維持管理計画の再構築
- ・情報発信力強化
- ・公社設立50周年記念事業
- ・八戸港ターミナルビル建替え
- ・職員福利厚生の充実

2 定款に定める公益目的事業

青森港及び八戸港のフェリー埠頭及びフェリー埠頭の円滑な利用を確保するために必要な施設の建設、賃貸及び管理運営を公益目的事業とする。

3 具体的計画

1 修繕工事実施計画

- ・青森港 (修繕費 15,200千円)
ターミナルビルの経年劣化に伴う補修工事のためシーリング及び外壁塗装等調査設計業務等を行う。
- ・八戸港 (修繕費 7,500千円)
埠頭施設の維持修繕工事等を行う。

2 固定資産取得等（施設整備）実施計画

- ・青森港 (資産取得 220,000千円)
第1バース防衝装置の更新工事等を行う。
- ・八戸港 (資産取得 775,360千円)
ターミナルビル建設事業に伴う建設工事等を行う。

4 埠頭の運営

1 青森港

令和3年度に引き続き、利用船社3社で就航船8隻、運航便数16便を予定しており、棧橋等賃貸料は289,430千円を見込み、諸施設の効率的な運用を図る。

船社別就航等の計画は、次のとおりである。

区分 船社名	航路	就航船数 (隻)	便数 (便)	就航 トン数	年間接岸 トン数見込	備 考
津軽海峡フェリー(株)	青森⇄函館	4	8	70,698	24,514,572	・利用バース数 4バース
北日本海運(株)	青森⇄函館	2	4	8,012	2,812,212	
共栄運輸(株)	青森⇄函館	2	4	10,112	3,547,205	
合 計		8	16	88,822	30,873,989	

2 八戸港

令和3年度から就航船1隻、運航便数1便減少し、利用船社1社で就航船4隻、運航便数4便を予定しており、棧橋等賃貸料は202,260千円を見込み、諸施設の効率的な運用を図る。

就航等の計画は、次のとおりである。

区分 船社名	航路	就航船数 (隻)	便数 (便)	就航 トン数	年間接岸 トン数見込	備 考
川崎近海汽船(株)	八戸⇄苫小牧	4	4	37,463	13,129,852	・利用バース数 2バース
合 計		4	4	37,463	13,129,852	